

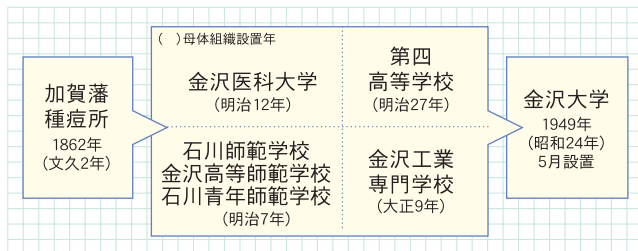


KANAZAWA UNIVERSITY
DATA 2008

- 1 組織・沿革
- 2 入学状況(学域)
- 3 学生数及び附属学校幼児・児童・生徒数
- 4 卒業後の進路
- 5 教育
- 6 研究
- 7 科学研究費補助金
- 8 産学連携
- 9 社会貢献
- 10 生涯学習
- 11 国際交流・外国人留学生
- 12 附属図書館・資料館
- 13 附属病院
- 14 収入・支出予算額
- 15 職員数
- 16 キャンパス面積

1 組織・沿革

歴史と伝統を引き継ぎ、未来へ向けて改革する
 国立大学で3番目に古い起源をもつ
 3学域・5研究科・1研究所の総合大学



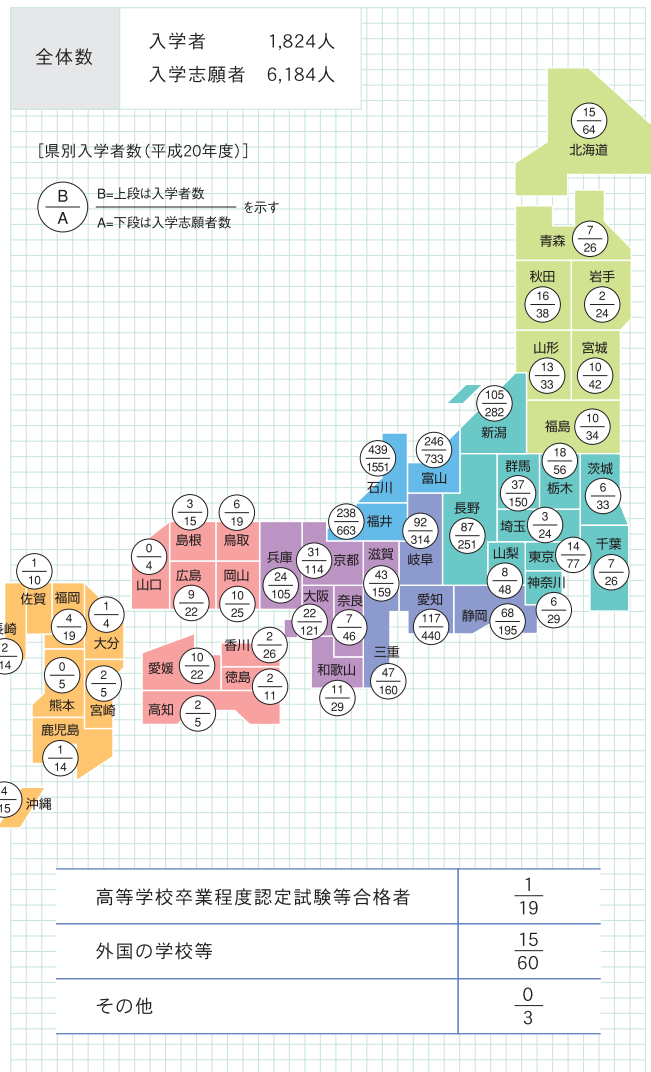
3学域・16学類	附属病院
人間社会学域 人文学類／法学類 経済学類／学校教育学類 地域創造学類／国際学類	がん研究所
理工学域 数物科学類／物質化学類 機械工学類／電子情報学類 環境デザイン学類 自然システム学類	附属図書館
医薬保健学域 医学類／薬学類 創薬科学類／保健学類	学内共同教育研究施設 地域連携推進／学際科学実験／総合メディア基盤 イノベーション創成／留学生／外国語教育研究 環日本海域環境研究／大学教育開発・支援 子どものこころの発達研究／環境保全の各センター
大学院5研究科 教育学研究科 医学系研究科 人間社会環境研究科 自然科学研究科 法務研究科(法科大学院)	学内共同利用施設 極低温研究室／資料館／埋蔵文化財調査センター 技術支援センター
	保健管理センター
	共通教育機構
	フロンティアサイエンス機構

- 金沢大学は文久2(1862)年加賀藩種痘所の源流としていますが、これは、日本の大学では長崎大、東京大に続いて3番目に古い起源です。
- 加賀藩種痘所など、様々な学校の歴史と伝統を引き継ぎ、昭和24(1949)年5月に新制大学として発足。
- 平成16(2004)年4月に設置者を国から国立大学法人に変え、新たな一歩を踏み出しました。
- 平成20(2008)年4月、社会の要請に応じた優れた人材の育成と、時代が求める新しい学問領域の開拓を図るため、これまでの教育組織である8学部・25学科・課程を3学域・16学類に再編・統合しました。
- 現在は、3学域・16学類のほか、大学院5研究科、附属病院、がん研究所などで構成されています。

2 入学状況

地元北陸3県を中心に
 全国各地から入学者が集まる総合大学

■ 入学者の地域別内訳は、北陸3県が51%、東海地域が18%、関東・甲信越地域が16%、近畿地域が8%の順となっています。



3 学生数 及び附属学校幼児・児童・生徒数

附属学校を含め
約**12,200**人の学生が在籍。
うち女子学生は4,322人(約36%)

[学域等別学生数] (単位:人)

学域・学部	学生数	研究科	学生数
人間社会学域	790 (384:49%)	大学院修士 (博士前期) 課程	1,336 (316:24%)
理工学域	656 (95:14%)		
医薬保健学域	378 (215:57%)		
文学部	594 (371:62%)	大学院博士 (博士後期) 課程	933 (254:27%)
教育学部	674 (364:54%)		
法学部	631 (252:40%)	専門職学位課程 (法務研究科)	118 (30:25%)
経済学部	677 (223:33%)		
理学部	638 (118:18%)	計	2,387 (634:27%)
医学部	1,182 (578:49%)		
薬学部	247 (107:43%)		
工学部	1,540 (153:10%)		
計	8,007 (2,860:36%)		
		その他 別科	34 (34:100%)

合計 (収容定員 9,423) 10,428 (3,494:33.5%)

()内の数値は女子学生の人数及び割合です。

■附属学校幼児・児童・生徒数は、幼稚園144人、小学校651人、中学校475人、高等学校369人、特別支援学校61人の計1,700人です。

[附属学校在籍者数] (単位:人)

学校名	在籍者数	学校名	在籍者数
幼稚園	144 (67:47%)	高等学校	369 (178:48%)
小学校	651 (322:49%)	特別支援学校	61 (25:41%)
中学校	475 (236:50%)		

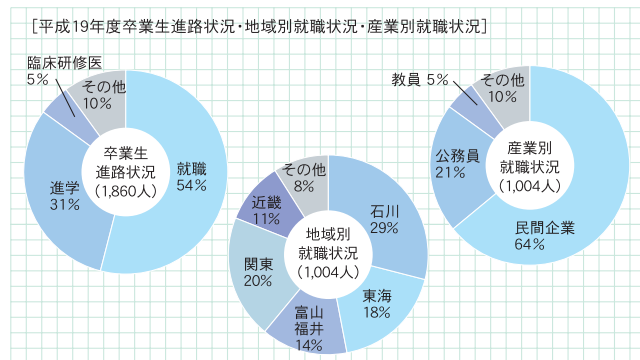
合計 1,700 (828:49%)

()内の数値は女子児童・生徒の人数及び割合です。

4 卒業後の進路

学部卒業者の約**3割**が大学院へ。
理系学部(医学部を除く)においては
62%が進学。

- 学部卒業生の累計は、73,222人に達し、社会の各方面で活躍しています。
- 19年度学部卒業生(1,860人)の31%が大学院へ進学。
- 就職者の約2割が公務員、就職エリアは北陸が43%でトップ(石川県29%)。



国家公務員Ⅱ種試験合格者数で
国立大学**トップ**(行政、技術系ともに)。
官公庁へ多くの人材を輩出、司法試験でも健闘。

- 金沢大学では、就職支援室が中心となって、就職指導・支援の充実を図るとともに、大学生協とタイアップして公務員試験対策講座を開講するなど、資格取得に向けた支援の強化を図っています。
- そのひとつの成果として、国家公務員Ⅱ種試験でも平成19年度合格者(行政)は118名、(技術系)32名となり、国立大学中でもともに1位となっています。さらに、19年度は地方公務員として167名を輩出しました。
- また、平成20年度の国家公務員Ⅰ種試験に10名の合格者、19年度新司法試験に8名の合格者を出すなど、難関と言われる国家試験でも健闘しています。

5 教育

文科省競争的資金に積極的に応募、獲得。

■文部科学省では、大学教育改革を推進するため、国公立大学を通じた競争原理に基づき、各大学の優れた取組に重点的な財政支援を行っており、金沢大学はこれらに積極的に応募し、獲得しています。

[平成18年度]

■「地域医療等社会的ニーズに応じた質の高い医療人養成推進プログラム」には、全国の大学病院等から55件が申請、11件が選定されました。金沢大学からは「周生期医療専門医養成支援プログラム」が選定されています。

[平成19年度]

■「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」(学生支援GP)には、全国の大学等から272件が申請、70件が採択されました。金沢大学から「心と体の育成による成長支援プログラム—社会に幸せをもたらす生活の知恵を持った学生の育成—」が選定されています。

■「大学院教育改革支援プログラム」(大学院GP)には、全国の大学等から355件が申請、126件が採択されました。金沢大学から「プロジェクト研究を通じた自立的研究者養成」が、また神戸大学、九州大学及び愛媛大学との共同申請の「大学連合による計算科学の最先端人材育成」が選定されています。

■「がんプロフェッショナル養成プラン」には、全国国公私大学から共同で20件の申請があり、18件が採択されました。金沢大学においては、富山大学、福井大学、金沢医科大学及び石川県立看護大学との共同申請の「北陸がんプロフェッショナル養成プログラム」が選定されています。

[平成20年度]

■「大学教育の国際化推進プログラム」(海外先進教育研究実践支援(研究実践型))には、全国の大学等から274件が申請、154件が採択されました。金沢大学からは「金沢大学の研究戦略に基づく研究者派遣事業(派遣予定者5人)」が選定されています。

学生の教養教育の満足度は、
全国約600の大学中**22位**、**国立大学4位**。
学位授与数は**全国16位**。

[平成18年度大学別学位(課程博士)授与者ランキング]

順位	大学名	授与件数	順位	大学名	授与件数	順位	大学名	授与件数
1	東京大学	1,153	7	名古屋大学	440	13	岡山大学	225
2	京都大学	774	8	東京工業大学	370	14	東京医科歯科大学	211
3	大阪大学	711	9	広島大学	340	15	新潟大学	200
4	東北大学	688	10	筑波大学	333	16	金沢大学	196
5	九州大学	474	11	神戸大学	323	17	慶應義塾大学	194
6	北海道大学	472	12	千葉大学	266	18	早稲田大学	161

朝日新聞社「大学ランキング2009年度版」より

6 研究

世界に誇る知の創造

文科省「21世紀COEプログラム」に選定。

■21世紀COEプログラムは文部科学省が、世界的な研究教育拠点の形成を重点的に支援するもので、金沢大学では、16年度に「発達・学習・記憶と障害の革新的脳科学の創成」が選定されています。

学術論文被引用数、国内**14位**。

薬学・毒性学分野では国内**8位**、

臨床医学分野では**同9位**。

■大学の研究面の成果や実績を示す指標のひとつとして「学術論文」の引用数がありますが、(社)国立大学協会『21世紀日本と国立大学の役割』によれば、自然科学・工学の分野において世界の学術論文の被引用回数によってランクすると、金沢大学は国内大学で14位(研究所含めて16位)、世界352位にランクされています。

■分野別では、薬学・毒性学分野では国内8位、臨床医学分野では同9位となっているなど、質量ともバランスのとれた教育重視の研究大学です。

[自然科学・工学 学術論文被引用数ランキング]

国内	国外	大学名	論文数	被引用数
1	14	東京大	61,940	677,440
2	31	京都大	44,553	463,987
3	35	大阪大	39,129	422,583
4	76	東北大	35,635	274,003
5	97	名古屋大	25,116	228,760
6	113	九州大	25,690	204,761
7	148	北海道大	24,052	175,062
8	173	東京工業大	21,479	154,856
9	221	筑波大	15,549	124,594
10	264	広島大	14,482	105,186
11	307	千葉大	10,501	89,080
12	310	慶應義塾大	10,848	87,835
13	329	神戸大	9,121	82,569
14	352	金沢大	8,255	76,515

(社)国立大学協会『21世紀日本と国立大学の役割』より

7 科学研究費補助金

日本の学術振興のため優れた研究を支援する「科学研究費補助金」の新規採択件数は全国で**16位**。

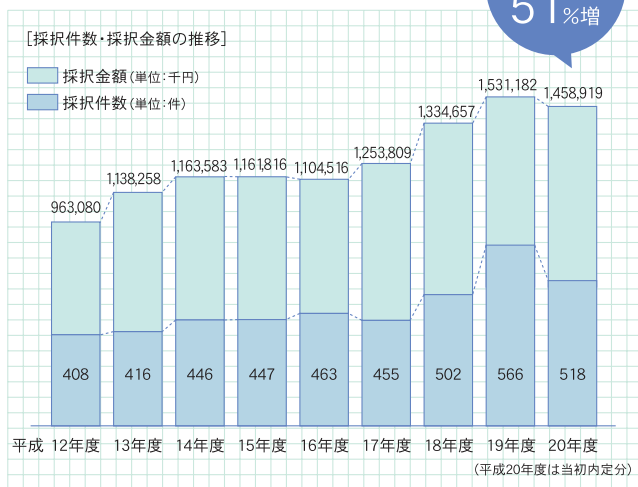
■科学研究費補助金の20年度予算は1,932億円で、政府全体の科学技術関係経費の5%、競争的研究資金の約40%を占めています。

[平成20年度科学研究費補助金 採択件数ランキング(新規採択分)]

順位	大学・機関名	採択件数	順位	大学・機関名	採択件数	順位	大学・機関名	採択件数
1	東京大学	1,019	7	北海道大学	480	13	岡山大学	241
2	京都大学	875	8	筑波大学	313	14	千葉大学	237
3	大阪大学	712	9	広島大学	307	15	東京工業大学	218
4	東北大学	667	10	理化学研究所	268	16	金沢大学	193
5	名古屋大学	530	11	慶應義塾大学	259	16	早稲田大学	193
6	九州大学	501	12	神戸大学	254	18	熊本大学	178

注1) 研究代表者の所属する研究機関により整理している。

新規+継続の合計では採択件数**518件**、
交付金額**14億5,891万円**
交付金額は8年前に比べ**51%増**。



■金沢大学では、申請書作成のための説明会を開くなど、科学研究費補助金の一層の獲得増を目指しています。

8 産学連携

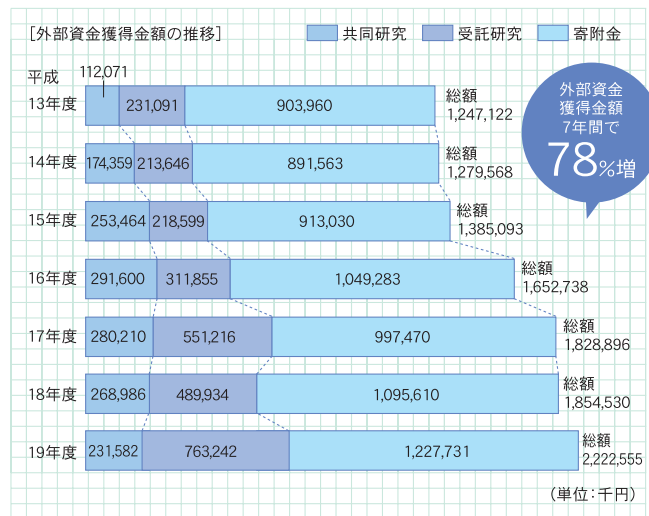
金沢大学ではイノベーション創成センターを窓口として、産業界との連携を図るため、共同研究、受託研究を推進しています。

■19年度の共同研究・受託研究の合計件数は291件で、7年前に比べて1.70倍に増えています。

■18年度の共同研究は、全国の国公立大学の中では、件数別で24位、研究費別で30位です。(文科省「平成18年度大学等における産学連携等実施状況調査」より)

外部資金獲得額は7年間で**78%増**。

■金沢大学における19年度の共同研究、受託研究、寄附金を合わせた外部資金は、22億2,256万円となっており、外部資金獲得を積極的に図っています。



特許出願は**50件** 特許実施許諾契約**14件**締結。
平成18年度特許実施料収入 **全国6位**。

■金沢大学では法人化後、発明は原則として機関帰属とし、発明者からの届出を受けて、将来、特許として保有して価値のあるものについて厳選して特許出願しています。

■19年度は、発明届出62件、出願数35件、特許実施許諾契約件数9件、特許実施料収入19,942千円となりました。

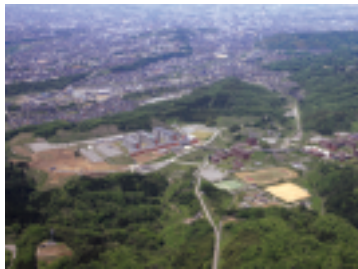
■なお、18年度の特許実施料収入は全国6位となっています。

9 社会貢献

全国の国立大学をリードし、積極的に社会貢献活動を実施。

■金沢大学は、14年度に「地域貢献推進室(現・地域連携推進センター)」を設置、全国に先駆けて「地域貢献コーディネーター」を配置しました。文部科学省の競争的資金や民間ファンドの支援を獲得するなど、積極的に事業を展開しています。

平成14年度	文部科学省地域貢献特別支援事業の第1次5大学に選定(～16年度)
平成17年度	文部科学省特別教育研究経費(連携融合事業)「里山プロジェクト」と「地域活性化プロジェクト」の2事業が採択(～21年度)
平成18年度	三井物産環境基金の支援を受け「能登半島・里山里海自然学校」を設立(平成18年7月～平成21年6月)
平成19年度	科学技術振興調整費(地域再生人材創出拠点の形成)に「能登里山マイスター養成プログラム」が採択(～23年度)



角間の里山自然学校

角間キャンパスの面積200㊥(東京ディズニーランドのテーマパークエリア51㊥の約4倍)の3分の1にあたる70㊥の里山ゾーンを活用し、市民らに多様な自然体験・生涯学習プログラムを提供。市民ら約7,500人が参加しました。(平成19年度実績)



金沢大学 創立五十周年記念館 「角間の里」

白山麓旧白峰村から築300年の豪農民家を移築し、大学と地域の交流拠点としてオープン。市民ら約9,600人が訪れ(19年度実績)、さまざまな交流活動をおこなっています。平成18年度金沢都市美文化賞を受賞しました。

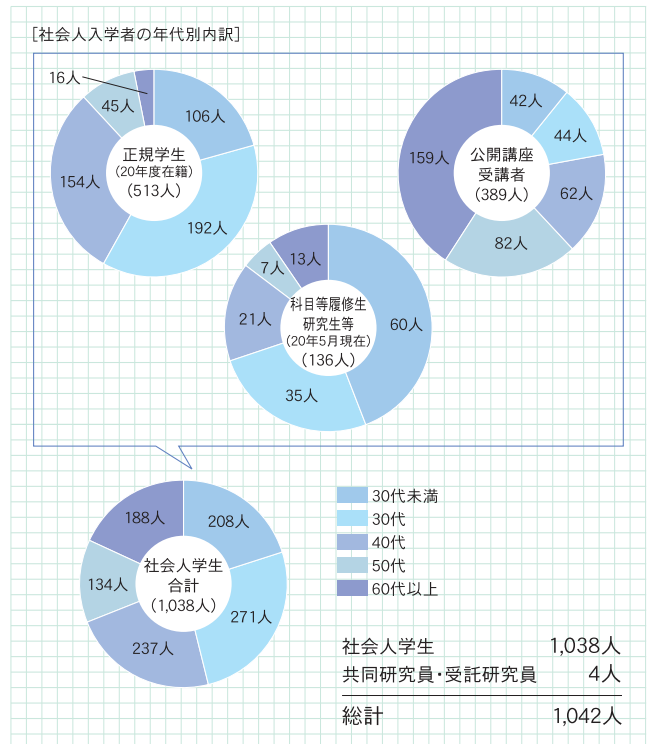
10 生涯学習

1,042名の社会人学生が学ぶ。
社会人学生は20代から60代以上と、年齢や活躍するフィールドも様々。

金沢大学は、地域の人たちの「学びたい」という気持ちに応えるべく、大学を幅広く開放しています。

■金沢大学では、公開講座、オープンキャンパスなど様々な形態で、開かれた大学づくりを推進し、行政・関係団体・グループなどと協力し合いながら、各界各層の市民の皆さまの生涯にわたる学習活動へのお手伝いをさせていただいています。

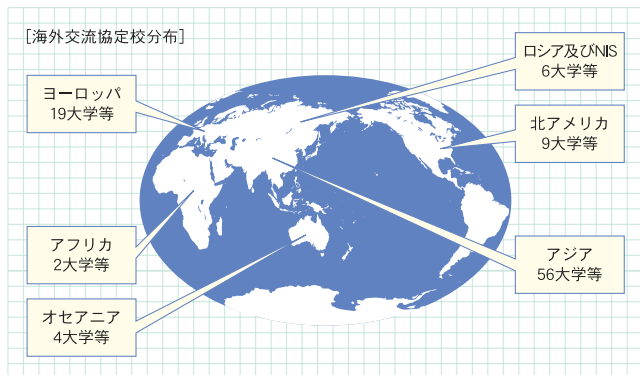
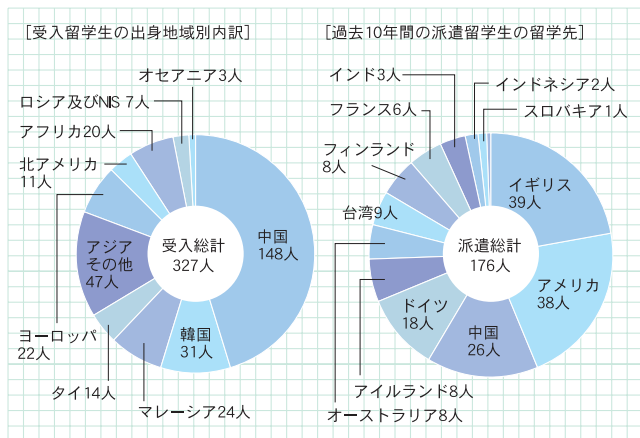
■昭和51年以来、公開講座受講者は12,682人、大学が県内の市や町と連携して行っている市町共催講座の受講者は59,584人(地域連携推進センター調べ)となるなど大学の有する資源としての専門性を生かし、生涯学習社会の構築に寄与しています。



11 国際交流・外国人留学生

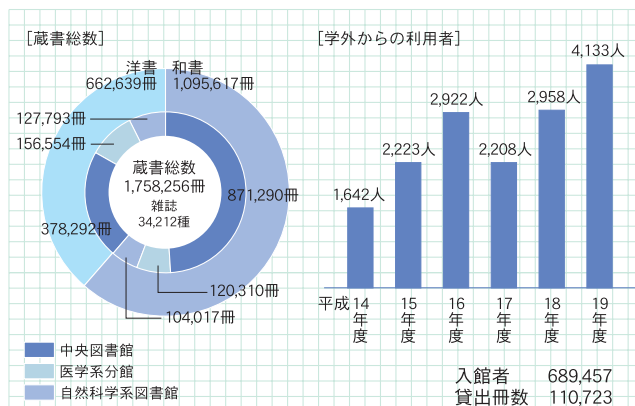
環日本海の基幹大学、
東アジアの**アカデミアの拠点**として、
アジア地域との交流を積極的に推進

- 金沢大学で学ぶ外国人留学生は、世界40ヶ国・地域からの計327人。うち80%にあたる264人がアジア地域からの留学生。金沢大学の交流協定校の半数以上がアジアの機関です。
- 毎年20名余りの学生が協定校に留学(期間3ヶ月~1年)。留学先で多い国は、アメリカ、イギリス、中国です。このほか、アメリカ、ドイツ、韓国の協定校の短期語学研修プログラムに派遣するなど海外留学を促進しています。



12 附属図書館・資料館

蔵書数は**176万冊**。
インターネットで蔵書検索可能。
電子ジャーナルも約5,800タイトルと充実。
(<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp>)
金沢大学学術情報リポジトリ(KURA)で
研究成果を世界に向け発信中。



- 附属図書館は、中央図書館(角間キャンパス北地区)、医学系分館(宝町・鶴間キャンパス)、自然科学系図書館(角間キャンパス南地区)の3館で構成され、合わせて年間約69万人の入館者と、11万冊の館外貸し出しがあります。
- 県内公共図書館と協力して図書館ネットワークを形成しており、来館の利用者(北陸3県在住者)に直接貸出をするほか、近くの公共図書館でも貸出の申し込みを受け付けています。また、中央図書館は日曜日も開館し、社会人や地域住民に積極的に開放しています。
- 金沢大学学術情報リポジトリ(KURA)により、本学教職員が本学における教育・研究活動の結果として生み出した学術論文、紀要などの学術情報(コンテンツ)を電子形態で保存し、インターネット上で世界に向け公開中。

■資料館は平成元年、金沢大学の角間移転を機に設立され、文化史、自然科学史にわたる「学術標本」及び「大学史料」を保存・公開しています。主なコレクションとして、加賀藩校「明倫堂」「経武館」扁額、第四高等学校の物理機器、暁烏敏氏収集の陶磁器コレクションなどを所蔵しており、年3~4回特別展や企画展を開催しています。また、石川四高記念文化交流館の展示企画を協力しています。

特別展・企画展回数
年3~4回

入館者数
3,371人

13 附属病院

1日平均患者数は**2,429**人。ベッド数合計**832**床。看護師775人を含む合計**1,485**人のスタッフで手厚い医療・看護を実施。

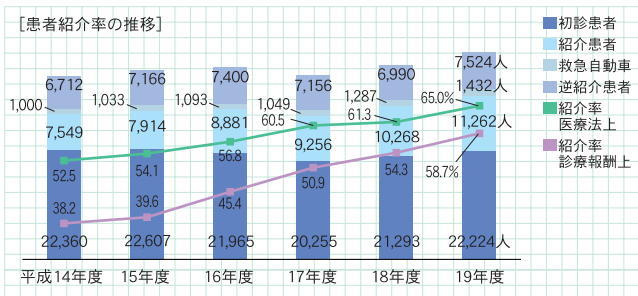
(平成19年度)

診療科数 31科		ベッド数 832床	
診療状況			
外来		入院	
延患者数 414,641人	1日平均患者数 1,699人	延患者数 266,979人	1日平均患者数 730人

※外来診療日数244日 ※診療科数は平成20年5月1日現在のものです。

内科・外科部門を中心に、各臓器別・疾患別に計31の専門診療科

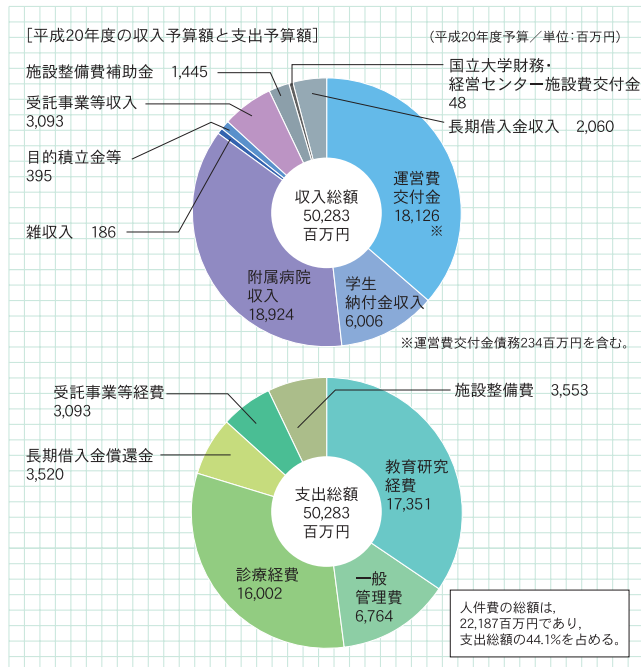
- 附属病院は特定機能病院、救急病院などの指定を受けています。
- 近年、病院の機能や役割は細分化され、大学病院、地域の病院・診療所が役割分担し、それぞれの役割を果たすことが重要になっています。附属病院は、高度で良質な医療を提供する特定機能病院として、患者のかりつけ医である地域の病院・診療所、そして保健行政機関、医師会等との地域医療支援ネットワークづくりを進めています。また、平成18年8月「がんの国家プロジェクト」に呼応し医学部、がん研究所と一体となりがん高度先進治療センターを設置、これらの実績が認められ、平成19年1月には厚生労働省から都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けました。さらに、平成19年8月より臓器横断的ながんの集学的治療を行うがん高度先進治療センター外来で診療が開始されました。



- 平成17年10月にオープンした新中央診療棟には、手術部、放射線部、検査部等の12の診療部門が移転し、遠隔操作型内視鏡下手術装置(手術用ロボット)や最新の手術台等、最先端の医療用設備が導入され、高度先端医療を支える基盤が整備されています。
- 附属病院では、「患者にとって利用しやすい」また「信頼される病院」を目指し、「市民モニター制度」を設けています。市民モニターからの意見を、病院全体の経営、他の病院との役割分担などに反映させていくこととしています。

14 収入・支出予算額

平成20年度予算額は約**503**億円。



- 国からの運営費交付金約181億円は、収入予算額の約36%を占め、20年度予算では、全国の国立大学の運営費交付金の多い順から16番目となっています。

[平成20年度運営費交付金ランキング] (単位:百万円)

順位	大学・機関名	金額	順位	大学・機関名	金額	順位	大学・機関名	金額
1	東京大学	88,274	7	北海道大学	41,015	13	東京医科大学	18,640
2	京都大学	60,868	8	名古屋大学	35,716	14	岡山大学	18,255
3	東北大学	50,717	9	広島大学	26,652	15	千葉大学	18,245
4	大阪大学	50,521	10	神戸大学	22,219	16	金沢大学	17,892
5	筑波大学	45,703	11	東京工業大学	21,390	17	鹿児島大学	16,839
6	九州大学	42,398	12	新潟大学	18,893	18	信州大学	16,397

- 金沢大学の予算額を地方自治体の20年度一般会計予算額と比較してみると、石川県の約1/10、金沢市の約1/3、白山市より多い金額となっています。

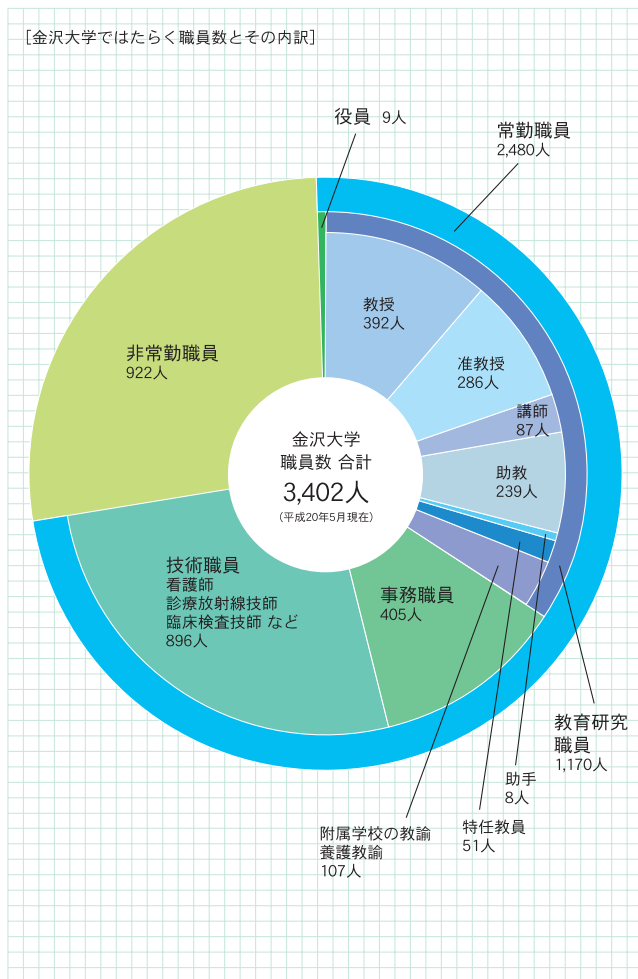
[平成20年度一般会計当初予算額]

石川県	金沢市	白山市
512,919百万円	152,109百万円	46,714百万円

自治体のホームページ公表データより

15 職員数

平成20年5月現在、
金沢大学で働くスタッフの数は**3,402**人。



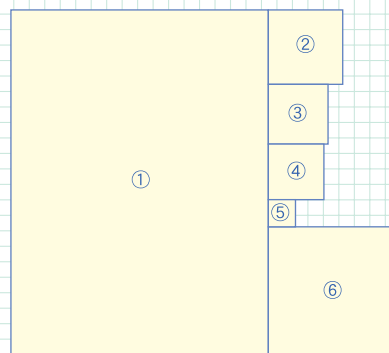
■金沢大学で働くスタッフ数は常勤2,480人、非常勤922人の合計3,403人。この数字は、石川県庁のスタッフ数の約6分の1。金沢市役所職員の約3分の2にあたります。

■うち教育研究職員が1,170人。学生10人につき、教育研究職員が1人つく割合です。

16 キャンパス面積

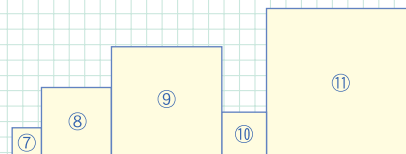
豊かな緑に囲まれた
ロケーションにある角間キャンパス。
このメインキャンパスをはじめとする
金沢大学の総面積は、約**266**万㎡。
東京ドームの約**57**個分。

[各キャンパスの面積対比]



- | | |
|--|--|
| ①角間キャンパス 2,008,565㎡
本部・人間社会学域・理工学域・
医薬保健学域(薬・創薬) | ⑤東兼六地区 10,517㎡
特別支援 |
| ②宝町・鶴間キャンパス 151,050㎡
附属病院・医薬保健学域(医・保)・がん研 ほか | ⑥その他 333,901㎡
臨海実験施設
辰口共同研修センター
学生寮・職員宿舍 ほか |
| ③小立野地区 83,342㎡ | ①+②+③+④+⑤+⑥
金沢大学 総面積 2,667,251㎡ |
| ④平和町地区 79,876㎡
附属幼・小・中・高 | |

[比較例]



- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ⑦石川県立野球場 20,179㎡ | ⑧兼六園 114,429㎡ |
| ⑨金沢城公園(外堀等含む) 約285,000㎡ | ⑩東京ドーム 46,755㎡ |
| | ⑪東京ディズニーランド 510,000㎡ |



金沢大学

KANAZAWA
UNIVERSITY

編集／金沢大学 総務部 総務課 広報戦略室

所在地／〒920-1192 石川県金沢市角間町

tel.076-264-5024 fax.076-234-4015

U R L／www.kanazawa-u.ac.jp/

Email／now@kanazawa-u.ac.jp/

※このリーフレットをお読みになったご感想をお寄せください。このリーフレットの掲載内容及び最新ニュースなどについては、「金沢大学ホームページ」でもご覧いただけます。

※データは特別な記載がある場合を除き、平成20年5月1日現在のものです。

